

AMUA 保存資料③—30年史通史史料—

今回は、AMUA保存資料の分類(右下図)のうち「30年史通史史料」について紹介します。

30年史通史史料(以下、資料群)は、本学初の本格的な大学史である『愛知医科大学三十年史』通史編(2006年3月刊行)の編纂にかかる資料群のことをいいます。この資料群は、現在整理作業中であるため、まだ確定的な資料点数を紹介することはできません。現時点では約900点分の第一次整理が行われていますが、最終的には2,000点規模になるものと思われます。



30年史通史史料の仮分類一覧

1. 設置前後の医学医療環境
2. 設置基準
3. 設置運動
4. 理事会等執行部の動向
5. 校地取得
6. 事務部門の動向
7. 重富・増田・太田関係
8. 医学教育
9. 学生募集
10. 入試関係
11. 留年関係
12. 特別指導部会
13. 医師国家試験
14. 三億円強奪事件
15. 大学院設置
16. 看護専門学校
17. 組織・施設プランニング
18. 教職員履歴等
19. 新聞記事切り抜き
20. 規則集
21. 雑

以下、2011年11月現在までの整理作業の成果として、資料群の概要を紹介します。

この資料群の特徴の一つは、『愛知医科大学三十年史』通史を編集・執筆する際の手元資料としての性格が強いことです。資料群は、大半が書類(事務文書・メモ等)で構成されており、部分的に書籍や新聞・雑誌スクラップや執筆参考資料などが含まれています。そして、資料群は左の表に示したようなテーマ毎に分類されてファイリングされており、各ファイルには種類の異なる資料が合本のように綴じ込まれています。

また、資料群の中にはコピー資料が多く含まれており、綴じ込まれている資料への書き込みも比較的多くみられます。こうした点からも、資料群が全体として『愛知医科大学三十年史』

通史における叙述の典拠資料集のような側面を持っているともいえます。

なお、冒頭に述べたように、現在、資料群は第一次整理作業の途中であり、すべての整理作業が終わって最終的に「30年史通史史料」として一般公開できるまでには今しばらくの期間が必要となります。

